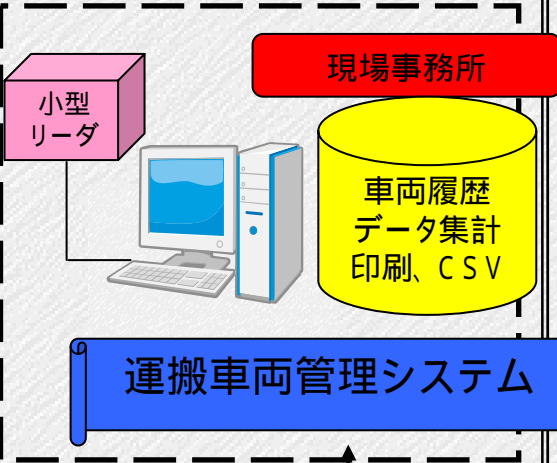


**RFIDを活用した
運搬車両管理システム
運用イメージ**

運搬車両の「運行履歴」を確実に・自動で収集可能。
「管理システム」に搭載されているデータ集計・印刷
CSV出力機能により事務的業務の効率化を実現。

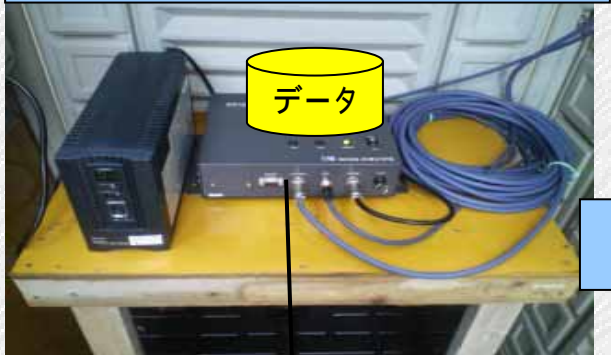


RFIDアンテナ/リーダーBOX



アンテナ

BOX内設置リーダーにデータが蓄積



アンテナにICタグをかざして車両を識別



担当者がデータのいったPCを事務所に持ち帰り、システム用PCにデータを転送



HXL-003RAソフト Ver3.0

カウント	タグID	読込日時	出入区分	ID種別	m3数	機器番号
0001	0462B3E8D6	2010/04/23 16:48	0	0	0	02
0002	0462B41796	2010/04/23 16:48	0	0	0	02
0003	0462B406D2	2010/04/23 16:48	0	0	0	02
0004	0462B3E879	2010/04/23 16:48	0	0	0	02
0005	0462B3E8F2	2010/04/23 16:49	0	0	0	02
0006	0462B3F9D2	2010/04/23 16:49	0	0	0	02

ドライバーさんがICタグをRFIDリーダーにかざすだけで、
運行履歴(車両・日時・場所など)が自動収集、
管理システムにより様々なデータ集計が可能です。

搬出入回数/タグID/日時/搬出・入識別/m3数(ハンディ用)/場所などの情報を自動収集

ぶつけても簡単に壊れない
金属製ICタグ



期間・場所の制約等により
ハンディタイプも選択可能



【ICタグを使用した効果 矢作ダム】 ケース1

工事が長期に渡り又日々の運搬回数も多い事から「何処から出て・何処に土砂を何回運搬したか」管理する事が重要。

システムを導入する事により

システム上の検索機能・集計機能を使用する事により、日々の業務が大幅に効率化させる事が予想される。改良中

【ICタグを使用した効果 富士海岸】 ケース2

石材メーカーから購入する為、「毎日何m3が何台搬入されたか」管理する事が重要。

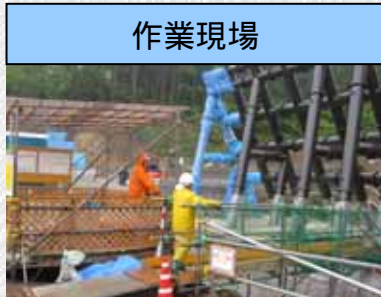
システムを導入する事により

毎日の納品書の仕分やデータ入力作業に置いて、3時間分の業務を削減する事が出来た。

RFIDを活用した 作業員入退場システム 運用イメージ

離れた場所でも現場作業員の把握が容易
労務管理や安全確認の業務を軽減
リーダは、ゲート式・ハンディ式から選択可能

ハンディリーダで作業員の
ICタグを読み取り、出退勤をチェック



スペースが無い場所でも
使用可能なハンディリーダ



ICタグ付の労務管理表
オレンジ色が現在の出勤者



Pocket WiFi
を使用

ハンディリーダで読取ったデータをPocketWiFiを使用し、現場から事務所までデータ送信

データは離れた現場事務所でもリアルタイムに送信できる為
作業員の把握が容易

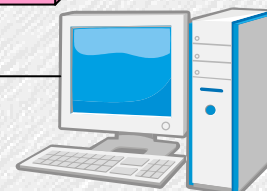
入退場
データ



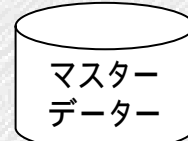
現場事務所



小型
リーダ



マスター
データ



踏んだり・落としても壊れない
金属製ICタグ



入退場の履歴画面

日付	時刻	場所	種別
2018/10/26	08:00	現場	入場
2018/10/26	17:00	現場	退場
2018/10/27	08:00	現場	入場
2018/10/27	17:00	現場	退場

累積表(月別)

日付	累積値
2018/10/26	1
2018/10/27	2
2018/10/28	3
2018/10/29	4
2018/10/30	5

過去の安全確認のデータを見て、的確な指導が行なえます



月間集計表

日付	時刻	場所	種別
2018/10/26	08:00	現場	入場
2018/10/26	17:00	現場	退場
2018/10/27	08:00	現場	入場
2018/10/27	17:00	現場	退場

安全確認・安全教育実施内容

項目	実施内容
安全確認	現場での安全確認を実施
安全教育	現場での安全教育を実施
安全確認	現場での安全確認を実施
安全教育	現場での安全教育を実施